



ルハ、対応が手、よくできている。フアースト  
ストアイウを組くと、ウ指示を出しているの  
だが、簡単にそのボールを見逃し、追いつま  
ぬてか、う釣り球に手を出して、三振の繰  
り返しだ。指示が徹底で王なみ、そのほか  
4(監督)の責任でもあるが、深いボールの  
の対応はどろしたものの、かなり大王な話  
になつてしまつた。普及の部活動での練習方  
法の段階から意識して取り組まなければ、自  
分が見ている子週一回の練習だけでどうにも

進んでいかない。また、選手の意識も然りであ  
る。今回、負けをいかに深く考え、何が足  
りないのかを各自の認識し、それを解消する  
ためにはどういう練習をしたか、良いものとい  
う一人が、そのり考えることが、帰つてきて  
すこは、謝り悔しい気持ちを持つて、いふはが  
だ。それをどう日々の練習に活かして、自分の中  
に組み込めるのか。その気持ちと来年の天  
会のその目まで持たせたいこと、そのほか  
7 意識し、おこるく、意識して取り組ま

けいさく名が、この差は南く一戸である。こ  
は言之、来年の八丈島大会は決定事項であり、  
残された期間に実際には一年もない。マシソ  
を購入し、邦子達や正志でまろり正志が解  
消も早いので、残念がわくような予算も  
なく、ない知恵を絞って出た。効果的な練習を  
するしかないので、現状である。来年以降を見  
据え、今年の大会にのめって、一年生を  
草田工せた。彼らも成長の期待し、  
ではあるが、やりかたもあまると考えて、二、三年

を過ごして、このと思う。地元南信で、  
では新町長を、はい、肉保者の方々に合わせら  
類もない。一瞬と言われ、大旗を勝った  
よう、全負で頭を使い、体を使い、来年の八月  
まで、えよう!!

離島遠征感想

木村 光司

ぼくは中学生になってから初めて離島大会のメンバーになりました。遠征には小学校のころと今回の大会を合あせて4回行きました。その中でも今回の離島大会は自分にとって一番いい経験になったと思います。

開会式の時などの緊張感が自分の住んでい

る所の試合と桁違いで、集中するのが大変でした。あのような場にいるという経験がほとんどなくなっている。いろいろな事が初めてでみんな合あせるのが精一杯でした。試合はそれまでのチーム練習や練習試合で失敗が多くあり、本戦の方には出ることができませんでした。その後の交流試合では今まで野球をやっていた中で一番調子が良くてチームも自分もびっくりしました。

試合などになると、前日や当日にいつも緊張して体が固くなる。てしまいうけがあり、そのため自分がどこまでできるか心配でしたが、その心配をよそに、いいプレーができたのでよかったです。

野球教室で教わ。たじろートバウンドの捕球の仕方は、自分が間違えている所や直さなければいけないことばかりでとても勉強になりました。

自分は小学校の低学年のころから野球だけをや。てきました。でも正直、上手といえるほどではありません。

ですが、高校でも続けるよ決めていきます。まだ、し。かり声がだせなかつたりなどいろいろな面でも足りないことあります。が、野球を通して自分の弱点を克服したいです。

とにかく精一杯野球をや。て、自分のためチームのためには全力を尽くしていきます。

離島甲子園

八丈選抜

木村

安成

ぼくは、まだ一年生なので離島甲子園のメンバーになれるとは思っていませんでした。両親には、「選抜された方には、選抜されなかつた人の分もかんばつてくるんだぞ」と言われました。抽選会の時に他のチームの選手を見ると、体つきに驚きました。そんな大きな選手に力負けしないように部屋に帰ってから素

振りをしました。試合の当日、佐渡選抜と戦いました。ベンチメンバーでしたか、試合をじっくり見ていました。相手のピッチャーのボールが速くて、びっくりしました。中学生でこんなに速いのは初めて見ました。結局4対0で負けました。その日の夜、ミーティングで「今日の試合に出ていない人は、スタメンだ」と言われました。次の日、ぼくは2番サードで出ました。相手は中種子島、ピッチャーは、一回戦を見ているとタイムアウトが取り

にくにピッチャーでした。監督から「ファーストストライクから振っていけよ」と言われました。緊張しなから打席に立つと「なぜか緊張が消えました。2球目アウトコースのボールを流しました。やばいアウトだ」と思いなからボールも見ずに全力で走りました。するとコーチャーから「オーバーラン」という声かきこえました。ボールはセンターに転がっていました。不思議な感じでした。でもまた負けてしまいました。決勝戦を見た時、

速いボールを投げる、よく打つ、全然レベルが落ちがうなまと思いましたが。野球教室ではパワーポジションの事を改めて教えてもらいました。その夜、コーチと一緒に素振りをしました。9時から11時半近くまでやりました。来年は、地元八丈島での開催です。選ばれた1、2年生が中心となります。ぼくも中心選手となるので、がんばっていきます。

離島大会

高橋 隆幸

ぼくは、今年になつて初めて、離島大会に  
 行かせていただいた。自分たちとおなじ  
 かんきょうに女子人たちがあつたり、野球と言  
 うスポーツでつながり、まことにぼくはとて  
 うたしかつた。自分たちが、陸上でいる  
島では、練習試合も、越かしかつた。この  
 ように、試合を女子きかいを作つてくださ  
 ったことに、日本のみなさんに、とて  
 感謝していきます。

島では、あまりそんなにおかしく、三まで  
 行けなかつた。行つたことも、いふ人な  
 の人たちと試合をするところを出して  
 くれた。今年、愛媛県でおこなつた。こ  
 りな経験が、出た。このよかつた。で  
 す。そして、野球教室では、天の  
 口のみなさま  
 は、あかすはない。いふこと、おし  
 え、こまら、島で  
 この離島大会で、まなぶことが、ま  
 した。

この大会を、聞かしく、おたみ、な  
 さま



ハ又島ビニの下会に協力をしてください。たみ  
なさんのあかげで自分たちが野球を出されるこ  
とに、とても感謝してまいります。

来年は、ハ又島が開らかると言っています。な  
ので、とても楽しみにしています。このあつ  
友大会を開催していただき、とてもうれし  
くおもしろいと思います。ありがとうございます。

離島大会で学んだこと

菅原 翔樹

自分は、初めと選ぼれて、最後の離島大会  
でした。そして、自分はこの離島大会で学ん  
だことがあります。それは、チームで団結し  
て勝つにいくという気持ちと他のチームの人  
たちとの交流と友情ができたこととです。  
チームで団結して勝つにいくというのはあ  
たり前のことですが、この選抜での団結とい  
うのは自分も初めてなので、改めて思いまし

した。いつもは各学校ごとに団結して試合を  
していただくので今回は各学校とという絆はなく、  
選抜チームで団結して勝つにいくという目標  
は達成できなかったんじゃないかなと自分も思いま  
す。  
そして、他のチームの人と交流では自分  
はしっかりと他のチームの人としゃべったりで  
きるかなと思いましたが、自分かと思っ  
ていた人は少なくて、みんな明るくて誰とで  
もしゃべっていい、一緒に行動していいし

て、笑った。いいたりしてみんないい人だなと思  
りました。そして、自分も他の牛一の人に  
耳をかいたら、たう、素直に言葉を返してくわ  
え嬉しかった。たがう。  
そして、自分はこの27を学んだことで、  
高校で野球をやりたい。もっと上手になっ  
たりする人。また会えた。いいなと思  
いました。

離島大会

高橋 大幹

ぼくは初めて離島大会に出たのでどんな大会なのかなあーと思っ  
ていました。予想していたより大きな大会だった  
のでビックリしました。ぼくは一年生なのに選  
ばれたのでがんばりたいと思  
いました。

新潟や他かりチームは、思っ  
ていたより、レベルが高くピ  
ッチャーの球も速くみんな打  
てていました。ハタはバツ  
テイグがイマイ

チでした。高めの球に手を  
出してしまいましたが、ぼくも  
高めの球に手を出さないう  
に練習していきたくです。

次に試合をした鹿児島県  
の中種子中学校と選抜メン  
バーが試合目に出ていな  
んだ。一人で僕はライトで  
出ました。最初は緊張して  
いましたが、がんばって集  
中しました。

離島大会に参加して、野  
球や他のチームのプレイ  
とかいろいろなことが勉強  
になりました。

この大会に協力してくれた愛媛のみがさい  
ありかとうございました。

来年はハル野で大会があります。なので、  
それまでに技術を上げていきます。大会  
で学んだことをいかして行きたいです。

離島大会

佐々木

未来

離島大会では、僕は一年生の時が  
 行つて来た。一年生の時には、  
 試合には出来なかつたけれど、  
 先輩達のアドバイスや他の  
 人のアドバイスのおかげで、  
 その時は来年も行って試合に出  
 て勉強した事を生かして、  
 二年生になり離島大会に行き、  
 サードで活躍するようになった。  
 その時

は、一回戦を勝つて二回戦に  
 いくことができた。また、  
 僕は一回戦の途中でヒザを痛めて  
 しまひ二回戦は最初から出  
 ませんでしたが、あと少しとい  
 う所で代打で出て、アウト三  
 塁と二塁で僕は三振してくま  
 二塁が自けてしまひ、すごく悔  
 しい。たゞ、その事を頭に入  
 れて来年にいかして勝ちたい  
 と思ひました。僕が三年生に  
 なつて、首三年は最後まで三  
 回戦まで行きたと思ひました。  
 一回戦の

相手が新潟県佐渡島とあたり難く試合にな  
る人じゃないかと思いましたが。として僕は初  
めて一番という大事な打席に入り、守備では  
キヤッ千ヤ一を任されたので頑張りましたと思  
いまくした。もう少しで点が入る所で千エニジ  
になつたりしておくれた所もあつたけど  
一回戦負けてしまつたので悔しかつたです。  
でも、もう終わつてくま、大事なので次の  
後輩達に勝つても分けたと思ひます。来年  
はハナ島ごや子ゆでや、はり一勝以上はい

くほしいと思ひまくした。

離島甲子園を終えて

秋田 大河

僕はこのハメ島選抜に二年生のときから選  
ばれていました。一年生のときはぜんぜん試  
合に出られませんでした。二年生のときはず  
かみはながったけおとこが、フーとして試合  
に出ることか出来ませんでした。そして三年生のと  
きは、レキコラーとして主力として、サカに  
キチアテントとして試合に出ることかできました  
たのうして、今まはのことか思い出すと本

きにいろいろなことが頭に浮んできます。  
この甲子園が、おとこ三年生の大会が一番  
心に深く残っています。僕がキチアテントに  
つたのは、昨年の大会の決勝戦でした。監督  
と呼ばれて  
「お前、キチアテントかいいかい」  
と言われました。言われたときは、頭が真  
白になりました。それは、おとこが野球さか、こ  
い、甲子園の代表であるハメ島選抜のキチア  
テントといふことか、たかひです。最初は、僕



には務まりないだろうと思いがちとありうと思  
いました。しかし、監督に直接聞かされたので  
かりたしと伝えました。そして一年間練習し  
て逝げることなく大会を終えることができま  
した。ですが今考えてみると、頼りないダメ  
ダメなキャプテンで、選手のみならず監督や  
コーチとしても迷わくたつたなと思いはした。  
そして同時に悔しいという思いも二みあげて  
きました。この悔しいのは野球がないと返せな  
いと思えます。なので高校で野球をやって返

したいと思えます。

最後に、僕たちはいろいろな人に支えられ

ているというときこの大会で学びました。

このことは、野球だけのことではなくいろいろ

なことと言えますことだと思えます。このこと

も僕もずいぶんから生かしていきなりたいと思

っています。今まで大会の関わりで学びなさん

だうありがたうございました。とお願いだ

です。

離島甲子園感想文

笹本 大心

今回、第四回離島甲子園での八丈は一回戦  
敗退という残念な結果でした。しかも、ノー  
ヒットノーランで一点もとれず、悔しい結果  
でした。僕は、サードを守っていたが、も  
前に突っ込めず、エラーをしておきました。  
打撃では、ライト方向に飛ばしたけれど、  
られてアウト、三振などいい結果ではありま  
せんでした。しかも、チームで決めてた、  
ら

ーストストライクから振るといことが、  
きませんでしたが、今回、僕はとても悔しかっ  
たです。僕のダメな所はバツテイングです。  
佐渡のピッチャーの速さにあっていませんで  
した。八丈には、佐渡のピッチャーぐらい、  
速い球を投げる中学生は、いません。そのた  
め、速い球になれるために、練習方法を工夫  
する必要があると思います。  
来年は、八丈でやるので、絶対に優勝した  
いのです。ここ三年、開催地のチームが決勝戦

まじ勝ち残り  
ているとい  
うことなの  
で、その  
記録をスト  
ップしな  
いように  
いこねが  
らの練  
習をがんば  
っていき  
たいです。

最後に、今  
回たくさん  
の方のあ  
かげでこ  
のような  
大会がで  
きるという  
、感謝の  
気持ちを  
大切に  
していきたい  
です。

中学最後の野球

ハ丈島選抜

加藤

三朗

僕は中学三年なので、今年の最後の大会がこの全国離島交流中学生野球大会でした。ハ丈島選抜はレギュラーのほとんど三年生で、僕も三年なのにレギュラーとして試合に出ることかできませうでした。一回戦の佐渡との試合では、試合中に一度もグラウンドに出ることなく終わりました。そして負けました。たにとがともくやしかったです。僕が出

ても何もまもらなかつたかもしれないけど、バントで声をかけることしかできないうちはグラウンドに出て、少しでも皆の力になりました。か、たです。次の日の中種子との交流戦では、スタメンとして試合に出られたことかうれしかったです。しかし、エラーなどのミスも多かったです。チームに迷惑もかけました。特に野球の試合ができて、とも楽しかったです。僕は確かに、レギュラーの皆みたいにならな

上くないし、向かっただけよキなことがある  
わけでもなく、家ですごく個人練習をしてい  
たわけでもありませんでした。もしかしたら  
普通の友達より下手だったのかもよキかもしれません。  
でも、野球を友達や仲間と一緒にやるのが楽  
しか、だから野球をやっています。今回の大  
会は一試合だけしか出られなかったけど、か  
らばり仲間と一緒に野球をすることとはとても  
楽しかったです。中学生での軟式野球は目途  
がけど、もしまた機会があれば、この時の

仲間と一緒に野球をやりたいです。

離島甲子園を終えて

佐藤 龍武

長時間飛行機に乗り、や、と着いた上島。初日の夕方、各チームのキャプテンがそれぞれこの目標を発表しその日は終わった。二日目、やや緊張しながら試合は始まった。最初の打席はフォアボールでフーストに行けた。リードは自分で思っていた以上に大きなく、けんせいされはさまれてアウト。や、と

でたらランナーなのにベンチにすぐ帰ってきてしまった。ここでいけなかつたのはランナーとしての意識のなさと腰が高かつたことだ。結局この試合で納得のできるプレイはなく一点もとれずに負けてしまった。試合が終わってからはただ離島甲子園の速報を何度も見ているだけだった。あ、というまに時間は流れ決勝戦の日。天気は悪かつた。突然降ってきた雨は、長い時間降り続け、上島と久米島の両チームが優勝した。野球教室では、内野

手の持ち方で腰をおとすように言われた。  
分かっただけいなくても実際にはできていないこと  
が分かった。これからは言われたことを素直  
に聞き、言われたことを出来るようにし、少  
しでもうまくなるようにしたい。

最後の夏

菊池 堅弥

三振三振三振、僕は打つことかゝるまで、千  
ムも勝利に導くことができなかつた。  
8月19日金曜日僕たちの最後の大会が始ま  
た。一回戦にあたりたのは、佐渡市中学校選  
抜でした。一回からワ回までピッチを一本も  
打つことなくノーヒットノーランで負けてし  
まいました。僕は連続三振という四番の仕

事も果たせなかつたのか悔じかゝたです。  
守では、エラーすることかなくし、かりとし  
た守備でした。でもピッチャーが頑張つて投  
げているのを、援護できないうのは、情  
けないと思つています。佐渡市中学校選抜と  
八大選抜との力の差を知りました。この試合  
が終わりたと同時に僕の中学の夏が終わりた  
と思ひました。宿に帰つてから休んでいると  
佐渡市の人たちがやってきて仲良くなりました  
た。そして佐渡市の人に優勝してくれただの



みました。でも次の試合で負けてしまいました。  
一緒に宿にとまっていた佐渡市の人はみん  
なが仲良くなり楽しくなりました。  
次の日の決勝戦は雨で中止になり2チームの  
優勝になりました。その後の、野球教室も雨  
によって室内でやることになりました。僕は  
内野の守備の構えや基本を教わりました。  
野球教室の後はさよならハイテでもしまし  
た。いろいろたチームの人などと一緒に飯を

たべて話をしたりしていました。アウカール  
の子とも話をしたりするとかできました。  
離島交流中学生野球大会は野球を楽しみ他  
のチームと交流もでき最高の思い出がしま  
しました。

離島甲子園

伊勢崎 銀河

今年は雨の影響で、練習があまりできず、練習試合でも良い成績が残せないうまま、出発しました。

出発前夜は、あまり緊張しませんでした。飛行機に乗ると、ものすごく緊張しました。広島に着いて、近くにいた大島の選手たちを見て、一みんな、背が高いなあ、と思いました。

大会一試合目 佐渡ヶ島戦。相手投手は

超豪速球を投げる投手でした。四対〇で負け、てしまいました。が、フアインプレーを何度もしました。ノーヒットノーランで負けたので、次の試合では、リベンジしたいと思いました。交流戦では、中種子島と戦い、七番レフトで試合に出ました。何よりもすごいのと思いました。たのが、味方ベニチからの声です。相手よりも、二倍、三倍、応援してくれました。ので、この試合は勝つ、たなと試合中、思いました。

ネクストボッダーボックワスに立った時、汗が  
大量に出てきました。打席に立つと、二死満  
塁。とても緊張しました。結果は三振。その  
回の守備、泣きそうになりました。試合は五  
対一で負けました。三年生は最後の離島甲  
子園なのに負けてしまい、申し訳ない気持ち  
でいっぱいです。

来年はハズ島で開催されるので、四年連  
続地元チーム決勝進出のジंकワスを破らない  
ようにしたいです。そのため、人一倍努力

して、優勝して、今年のリベンジしたいです。

離島大会感想文

大澤勇斗

ほくは、離島甲子園という夢の舞台に1年  
前から行けたことを本当に気づきも感謝して  
います。

8月19日の晴々した天気の中くり返るげら  
れた大会数々のチームが集まりさん張にのみ  
こまれた。さん張は、しこもどのチームでも  
あいつは、ぶきた、それが一番のさん張を  
ほくしてくれたと思います。

第一試合ハ丈は、さどが島のチームとやる  
ことになっ。こいた。ほくたちからの先こりか  
ら始まりさん張かたよった。相手投手の一  
球を見た時、早くこむツワリした。

だけど、バツトをみじかく持てはしんにあ  
こヒツトになると信じこいた。

第一打席、かんとくからのバントサインこ  
こは、絶対に送りたいと思っ。たけどバツトに  
当たったもののフライになりアウト最悪の結  
果になった。その失敗を次にいかせようと

え二打席目に立った。マイシンもだいたいつ  
かみとれどいたけど、第5球目三振でアウト  
す。くくいに残る打席だった。そのまま終  
り八丈は、41011ヒットノーランで完  
う負けをこししまった。

次の試合は、種子島とカリほくは、ヤニチ  
からのスタートとなった。ヤニチもやるこ  
とはたくさんあった。コ、チカレ、トとのキ  
ャツ、チポール、バツトひき、声だしなどすこ  
く大切なおことばかりいっ勉強になりました。

最終回一アウトランナーは、袖打をぼくの  
番がまたここでヒットを打てはかえってくる  
とおもって、こいたけど結果は、スコート口の  
ケツツ、いであわりゲ、4セットで51で負  
けてしまった。この負けの要因であったとこ  
ろを練習でもやっていきました。かんとか  
からも来年はヒツチャ、たからたのおよと言  
あれすこく前向きになりました。来年は、ハ  
丈でやるので目標はただ一つ「優勝」だけ  
考えちゃって、いきました。と思います。



No. \_\_\_\_\_

No. \_\_\_\_\_

アナウンスをしてく来ていたり、ボールを  
 ぶくく木たりしたことがおごくありがた  
 と思われました。あとバスケ上島の人です。  
 バスケは僕達の球場への送り迎えを毎日してく  
 めたのでおごく良か、たです。あと島の人は  
 大層のお弁当がバコを運んで来てくださっ  
 ちごくありがた、たです。来年は、ハタ島  
 で瀬島大会が行われるので、優勝できよう  
 ながんば。てもらいたいので。

入る時とか守備の移行が未、たりしたとき、  
 中のことですか。試合中にバ、リ、ターボ、ク、スに  
 と思いました。なぜかという、夫、和、は、試、合  
 が、協、力、し、て、く、木、た、お、か、が、で、い、で、ま、る、い、る、人、を、人、達  
 ことですか。この大会は、お、ご、く、い、る、人、を、人、達  
 こ、木、が、良、か、た、だ、で、す。二、つ、目、は、ま、の、大、会、の  
 う、に、か、ん、ば、う、と、思、う、気、持、ち、に、な、お、ま、し、た。  
 み、か、を、お、ね、て、ハ、タ、島、以、外、の、チ、ー、ム、に、勝、て、る、よ  
 練習以外にも自主練習をたくして努力をつ  
 と負けっぱなしなので、こ、木、か、ら、は、日、々、の

離島大会

ハチ選挙

清水

里紀

僕は、一年生の時から離島大会に出ている  
 ので、今年で離島大会三回目です。一年生  
 の時から投手で選ばれ、昨年は僕が投げ、負  
 けてしまいました。思っていたので、今年に  
 優勝と目標を持っていったけれど一回鞍馬で負け  
 てしまいました。本当にイヤかったです。離島大  
 会は、都大会とは違う雰囲気です。メニバーも

ハチの中や選挙されたメニバーだったのや本  
 当にイヤしかったです。  
 今回は、野球教室が室内で行われ、おご  
 く残念でしたが、走り方の基本、庄屋、投げ  
 方、打撃の基本を学んで良かったです。  
 離島大会の後の土曜日は、ハイハイ下は、お  
 いしい食べ物や飲み物が買われたり、他の島  
 の人と会話をしたりして、とても楽しかったです  
 下す。  
 来年は、離島大会がハチ島で行われるのよ



離島大会の雰囲気など、後輩に教え、来年こそは優勝してほれ、と思えます。

来年から僕は高校に入り、野球部に入部し、軟式から硬式へと変わりむずかし、事があると思いうけぬ、この離島大会の野球教室、本や、試合や学んだことも生かして、人がばつ、いきた、い下す。高校に入ったら、甲子園を目標として、かたが、いまた、いと思えます。

離島大会に三回も出場できて、本当に良かった。

たです。

離島大会を通じて

田中 佑弥

僕はこの離島大会、三回目の出場でした。八丈島では天候の影響で思うように練習が出来ないまま大会に臨みました。佐渡選抜との試合では、チームを通してヒットが一本も出ず、四村の克封負け。とても悔しかった。です。中種子と行った交流試合では、二年生中心のチームが先制点をとりました。この一点は来年につながる貴重な一点でした。今回

出場した一、二年生が中心となりチームを引っ張っていったと思っています。

僕がこの大会で学んだことは、一つはあいさつです。関係者やスタッフの方々に大きな声であいさつをすること、みんな笑顔で返してあげること、大切なことです。社会に出たときにも、とても大事な点と改めて思いました。もう一つは感謝です。スタッフの方々やマサカリドリ、スの方々、そして何より家族の存在が大きな

つたです。たくさんの人達の支えがあつてこ  
と、野球ができる幸せを味わえるのだと感  
ました。

来年はここ八丈島で離島大会が行われま  
す。僕は来年、大会のスタッフという形で  
お手伝いしたいと思つています。この三年間  
支えてもらう側でした。今度は離島大会の  
選手たちを少しでも支えたいと思つてい  
ます。小学校二年生の時からずっと続け  
てきた野球を高校に行つてもやりたいと思  
います。

高校ではレギュラーを目指して努力した  
です。離島大会を通して教わったことや学んだ  
ことを生かして、今後頑張っていきたいと思います。  
皆さんの貴重な経験、体験をさせていた  
だき、本当にありがとうございます。中学校生活  
での、とても素晴らしい思い出になりました。

